

ホイヘンスの原理

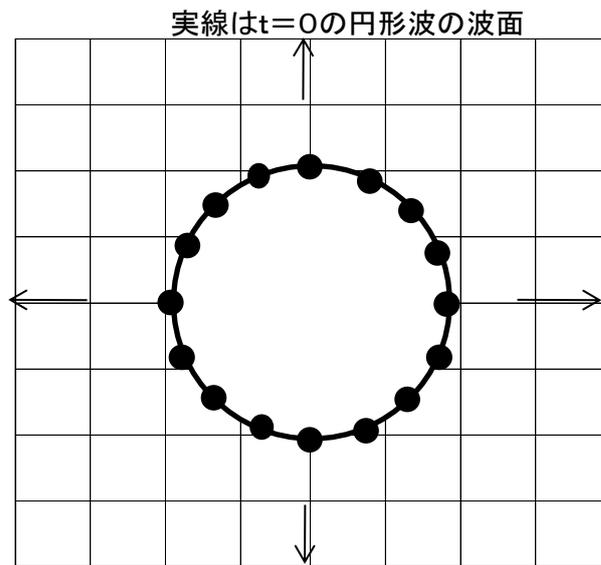
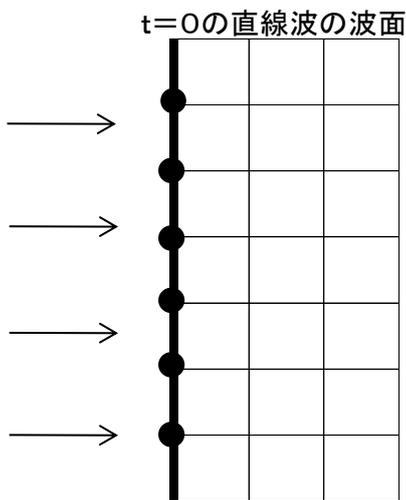
波面上の各点が()となり、各点から()と呼ばれる円形波が出ている。

()の伝わる速さは元の波と同じ速さで伝わる。

ある時刻の波面から出た()に共通に接する直線または曲線が新しい時刻の波面となる

これを()という。

問 波長1cm、速さ1cm/sの直線波・円形波が図のように伝わっており、その波面の様子が以下に書かれている。1s後の波面の様子を●印からの素元波を描き描きなさい。1目盛りを1cmとする。

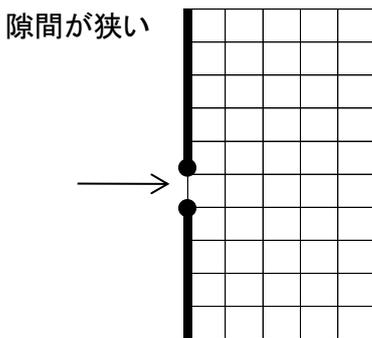


波の回折

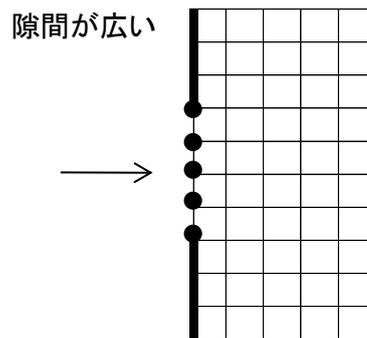
下図の矢印の方向に伝わる直線波がある。この波が防波堤の隙間を通るときについて考える。

図中の●から1cm/sの速さの素元波が発生するとして次の波面を描きなさい。

1目盛りを1cmとする。



防波堤



防波堤

このように隙間を通った波が回り込んでいく現象を()という。

隙間が()方が()方より()しやすい。